

改善計画書

施策番号	局・部	担当課	職名	氏名	電話番号(直通)
12210	健康福祉局 保健所	中央保健センター	所長	鈴木 豊子	042-769-8295
施策名	自ら行う健康づくり				

1 施策の目的

すべての人々がすこやかでこころ豊かに生活できる活力ある都市を目指し、病気の早期発見や治療にとどまらず、健康を増進し発病を予防することを重点に、個人・家庭・地域社会が一体となった生涯にわたる健康づくりを進めるため、市民の健康増進に対する意識の高揚と自発的な健康づくり活動の支援を行う。

2 取組み(目的達成するため、課題解決に向けて取り組んだ内容・事業)

■行政と市民団体等が、連携して実施する健康づくりを推進するための事業への参加動員数の増加
…合計参加動員数の前年度比3%アップ

- ・さがみはら市民健康づくり会議が実施した事業の参加者 5,758名
- ・津久井3万人ウォーク 318名 ・津久井フォーラム 195名

■健康増進事業の充実 60歳未満の参加者の体重の減少

健康増進事業のうち、運動プログラム作成時と運動定着コース終了日の体重を比較する。

体重が減少した人数/30～60歳未満の参加者数×100

30歳～60歳未満・・・34.8%が減少 30歳以上(全体)・・・54.7%が減少

60歳以上・・・63.5%が減少

- ・運動プログラム作成コース・運動習慣定着コース・運動体験教室2日間コース(ボクササイズ・踏み台エアロビクス・ソフトエアロビクス・ダンベル体操・チューブ体操)・ますます元気に健康教室 ……477回実施、参加者数延べ4,858人

3 実績値の分析(目標値に対する実績値について、取組み内容の効果・成果を分析する)

- 「さがみはら市民健康づくり会議が実施した事業の参加者」のうち、「健康フェスタ」については、同日開催・相互PR等、複数のイベントの連携によって参加動員数が増加した。
- 「さがみはら市民健康づくり会議が実施した事業の参加者」のうち、「市民ウォーキング大会会場での体力測定」(「体力測定」は、「市民ウォーキング大会」の会場内に測定会場を設けて実施する)については、参加動員数が減少した。これは、①大会会場内における測定会場の設営場所が参加者の動線からずれていたこと②大会会場が休日の人出の多い場所(市立麻溝公園)から少ない場所(相模川河川敷)へ変更になったこと③当日が悪天候であったこと等の理由によるものと考えられる。 ※「津久井3万人ウォーク」「津久井フォーラム」は基準年に実施なし。
- 指標5については1事業のみの目標であるため全市民的な視点を取り入れた指標を設定する。

4 平成20年度評価結果(3次評価での指摘事項及び意見)

1次評価	B	2次評価	C	3次評価	C
------	---	------	---	------	---

- ◆健康づくりイベント参加者が減っていることが課題ではないのか。そのための解決策を検討すること。
- ◆「健康プラン21」の「適正体重を維持している人の割合」を指標に設定すること。

5 改善に向けたスケジュール

平成 20 年

平成 21 年

平成 22 年

改善項目	平成 20 年			平成 21 年												平成 22 年		
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
①解決策の検討																		
イベント実施結果の分析・課題抽出				→														
次年度開催予定のイベント情報の収集・分析					→													
連携可能なイベント主催者との具体的な連携策（相互PR方法、協働事業の実施等）の検討								→										
イベント準備・実施											●	●	●	●				
											実施	実施	実施	実施				
連携したイベント主催者との実施結果の報告・分析・課題抽出															→			
②指標の設定（適正体重を維持している人の割合）																		
目標値の検討				→														
指標設定			●															
			設定															

イベントのPDCAサイクルの確立